

城取博幸の

マカオ スーパーマーケット見聞録

2010年 8月

城取フードサービス研究所

城取 博幸

<http://www.shirotori-f.com>

観光とギャンブルで成り立つ「マカオ特別行政区」

1999年12月20日、マカオはポルトガルから中華人民共和国へと返還されました。1年間にマカオを訪れる観光客は返還当時の750万人に対して、2006年は1,900万人と倍増した。マカオの人口は538,000人（2008年現在）で、人口の35倍もの観光客がマカオを訪れています。カジノの売上は、2006年に69億5000アメリカドル。同年のアメリカラスベガスの売上、65億アメリカドル（推定）を追い越しました。世界遺産も多く「観光とギャンブル」で注目を集めている地区である。

マカオのニュー ヤオハン

日本の小売業の歴史を忘れないためにも、今なおマカオにその名を残す「ヤオハン」を紹介します。1992年の出店当初は、フェリーターミナル前にありましたが、現在は南湾地域に移転しました。

ヤオハン（y a o h a n 八百半）は、「日本の静岡県を拠点とし、1990年代まで世界規模のスーパーマーケット及びショッピングセンターのチェーンを展開するも、1997年に経営破綻した小売業である。」

世界進出を積極的に展開したヤオハン

ヤオハンの世界進出の歴史（海外事業のみ一部抜粋）

- 1971年 海外進出1号店として、**ブラジル**に現地法人を設立しサンパウロ店開店。
- 1972年 **アメリカ合衆国**に輸出入を業務とする現地法人を設立。
- 1973年 タイガーバームで財を成した客家系のAw Boon Hweと南海交易を設立し、翌年9月に**シンガポール**第1号店をオーチャードロードに開店。
- 1979年 **コスタリカ**第1号店を現地法人にて開店。
- 1979年 **アメリカ**第1号店を**フレズノ**に開店。
- 1981年 **シンガポール**第4号店を開店。

- 1985年 マレーシアへ出店。
- 1986年 ブルネイ・ガドンへ出店。
- 1988年 台湾へ出店。香港に3号店開店。アメリカ・ニュージャージーに開店。マレーシア第4号店を開店。タイに現地法人設立・出店。
- 1990年 国際流通グループ・ヤオハン総本部を香港に設立。
- 1991年 タイ第1号店開店。中国大陸に出店。
- 1992年 マカオに出店。
- 1992年 カナダ、イギリスへ出店。
- 1993年 アジア一の巨大百貨店である「上海第一八佰半百貨店」、「八佰半上海IMM卸売センター」開業。
- 1995年 上海に「Nextage Shanghai 新世紀商場」を開店。
開店初日には107万人が来店し、その記録はギネスブックに掲載された。
- 1996年 国際流通グループ・ヤオハン総本部を上海に移転。
- 1997年 海外事業から撤退。
- 1997年 香港の全ての店舗が閉鎖され「ヤオハン国際有限公司」として地元資本が引き継ぐ。
マカオの「New Yaohanデパート（新八佰半商場）」も同様に香港の地元資本に受け継がれた。

参考データ：「ウィキペディア Wikipedia」

マカオ ニューヤオハン（南浦）



ニューヤオハンの外観



入口



青果売場



インスタRTC商品



日本のゼリーの大陳



日本の冷凍食品



日本のLL牛乳大陳



日本の即席ラーメン



日本の焼酎、日本酒



日式山賊焼き（鶏照焼き）



日本産くだもの



購入商品



加工肉の量り売り



ドライ食品売場



ハーブティーのマネキン

日本のヤオハンのDNAが現在も残る店

1992年にフェリーターミナル近くに開店したが、現在は地元資本に引き継がれて南浦地区に移転した。建物は7階建ての最上階に食品売場がある。

日本商品を売り物に地元客や観光客の人気を集めている。

「日本産」と書かれたくだものや、「日式」と書かれた商品が目につく。菓子、ドライ食品、チルド商品、冷凍食品、酒類の品揃えは日本と殆ど変わらない。

日本の商品のブランド力の高さを知らされる。

売場づくり、陳列方法、POPの取り付けなどかつてヤオハン時代のDNAが残る。かつての教育が従業員に引き継がれ変更されることなくそのまま残されている。

マカオに限らず、かつて訪問したシンガポールのオーチャード通りのパラゴンショッピングセンター内にある「マーケット・プレイス」（現在はデイリーファーム傘下の店）も日本のDNAを感じた。

「夏草や つわものどもが 夢の跡」 松尾 芭蕉

「残って欲しかった」、「残して欲しかった」

かつて、世界を暴れ回った日本の小売業「ヤオハン」。

「知っていてほしい」「覚えていて欲しい」「忘れないで欲しい」
 世界へ日本商品の商流、物流を開拓しただけでなく、日本のDNA、食文化を
 世界に広めた功績は大きい。
 マカオを訪れたおりには、ぜひ訪れてください。

マカオの地元スーパー 新苗超市場



店舗入口



くだもの売場



皮むきされたパイナップル



青果のBYは売場



菓子の納品と検収



冷凍魚



冷凍肉



料理のソース 3. 8ドル



縁起菓子



購入商品



調理ソースのシリーズ



月餅 (17~25ドル)

マカオのエネルギーを感じる地元スーパーマーケット。24時間営業。
 ホリディインホテルの隣のビルにあるドライ型スーパーマーケット。オフィス
 街にあるだけに肉や魚の品揃えは少ないが、ドライ食品、菓子、雑貨、電化製
 品の品揃えは充実している。典型的なドライ型スーパーマーケット。